



CONTENTS

萬翠荘紹介	1
会長ごあいさつ	3
委員会報告	
1. 総務・財務委員会	8
2. 業務・技術委員会	9
3. 会員委員会	10
4. 教育・情報委員会	10
5. 広報・渉外委員会	13
6. 青年・交流委員会	13
7. 支部報告	14
8. 競技設計委員会	15
第44回建築士事務所全国大会熊本大会に参加して	25
防災士資格取得支援	27
会員作品紹介	28
賛助会報告	33
新会員紹介	34
編集後記	39

建築概要

設計 木子七郎

建築面積 428.78㎡

延床面積 887.58㎡

竣工 1922年(大正11年)

構造・規模 鉄筋コンクリート造、屋根小屋組は鉄骨造、タイル貼、地上3階・地下1階

所在地 〒790-0001 愛媛県松山市一番町3丁目3-7

備考 重要文化財(2011年指定)

撮影:北村 徹

萬翠荘(国重要文化財)

松山藩最後の藩主久松定昭の嗣子、久松家第15代定謨^{さだこと}は、陸軍武官として長く欧州に駐在し、退役後この地に純フランス風の別邸・萬翠荘を建築した。

建物は、鉄筋コンクリート造地上3階、地下1階、中央に重厚な車寄を置き、屋根は頂部を緩勾配の銅板で、下部を急勾配の天然スレートで葺く。外装にはタイルを用い、車寄・玄関扉・窓・手摺・屋根窓に至るまで欧風の薫り高い意匠でまとめられている。内部も玄関ホール^{エントランス}の左右に建つ万成石の独立柱をはじめ、チーク材の階段手摺、大型のステンドグラス、マントルピースなどがロココ調の家具と相まって優美な雰囲気^{アットモード}を醸し出す。設計は、欧米外遊から帰朝直後の建築家・木子七郎が担当し、本格的な鉄筋コンクリート構造の建物を初めてこの地方に導入した。

建物は、予定を繰り上げて大正11年(1922年)11月に竣工し、陸軍大演習の後に来松された皇太子(後の昭和天皇)の宿泊所に充てられた。

松山市ホームページより





ごあいさつ

一般社団法人
愛媛県建築士事務所協会
会長 林 貞義

薫風緑樹の候、会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会の事業活動にご協力とご支援を賜り誠にありがとうございます。

早いもので会長に就任して1年が経ちました。コロナ禍3年目からの就任であり、協会活動を自粛から通常に戻すことを目標としてきましたが、感染者数の大きな波の中で、自粛継続止む無しの1年となってしまいました。そんな中でも野外でのスポーツ(ゴルフ大会)・ボウリング大会・高校生コンペ・中西国ブロック会議・全国大会(熊本大会)・WEB併用理事会など主な活動は開催できましたが、会員・賛助会員の皆様との親睦会は昨年末の忘年会のみとなり、皆様大変ご迷惑をおかけしていることを心苦しく思っています。

私たちの業界も、ロシアのウクライナ侵攻を発端とした世界経済の動きの影響を受け、建設資材不足、価格高騰など厳しい現状になっています。今後物価の上昇が落ち着き、設計業務の増加が見込めるのか、見通しが立たなくなりつつあります。

愛媛県内における設計業務も、通常設計発注が横ばいのなか、自治体発注の長寿命化改修設計が短期集中型発注になったことで、設計者不足によって設計業務が消化できない状況も見受けられます。長寿命化改修設計は電気・機械設備設計のウエイトが高く、電気・機械設備設計技術者不足が特に大きな起因でもあります。以前からこの技術者不足に取り組む必要性を感じていました。

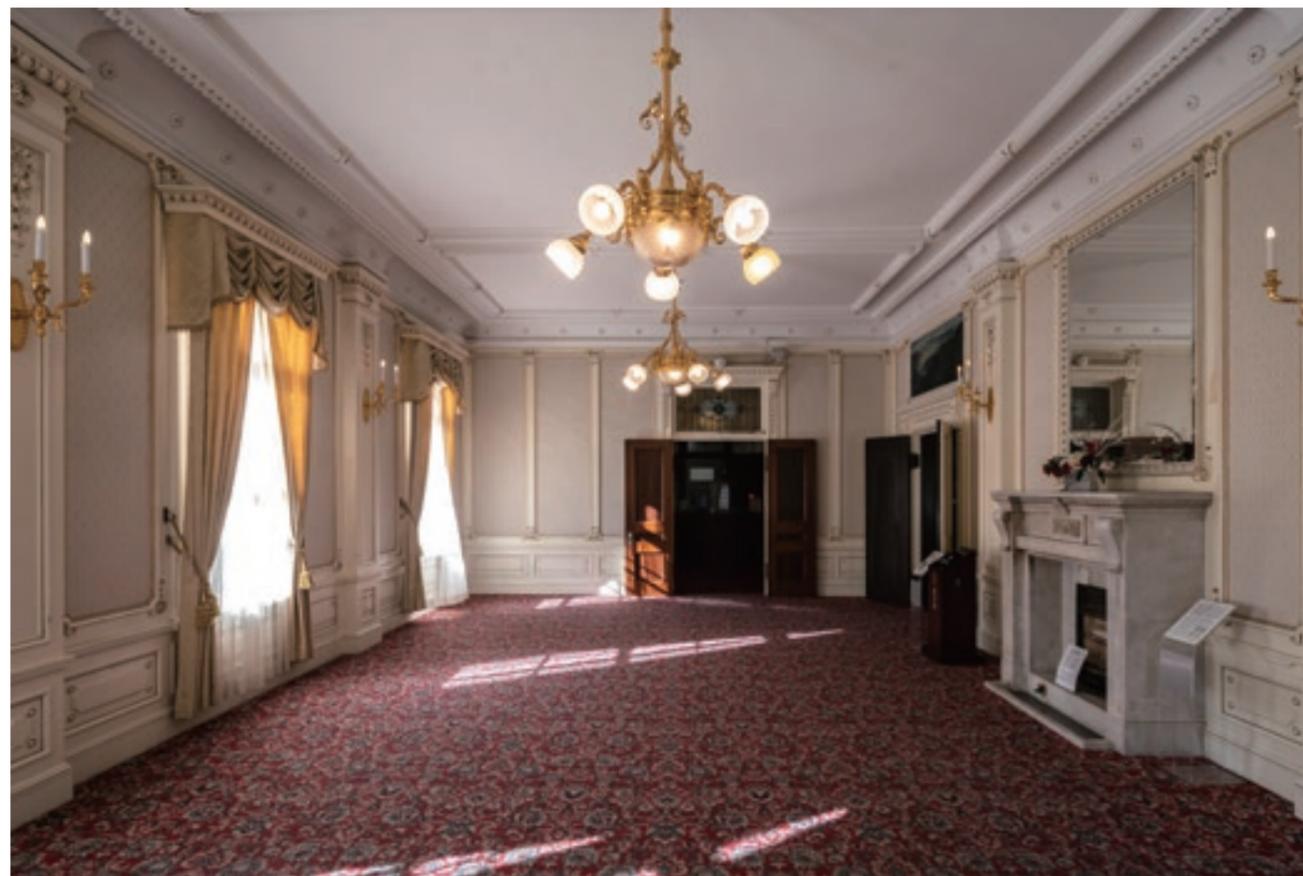
協会では設備設計者支援を進めています。即効性はないのですが、支援を継続することで、今後の設計者増加を期待しているところです。

令和5年度においては、コロナ禍終息を願いながら、会員交流事業の再開等により会員相互の結束を更に固くし、講習会・見学会の開催や的確な情報提供による会員の資質向上と業務の適正化、公共団体と連携した建築物の省エネや耐震化等に関する消費者相談対応など、協会事業の適正な実施と法定団体としての責務を果たして参りたいと考えております。

今後ともご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



1階 ホール・階段室



1階 東南のサロン



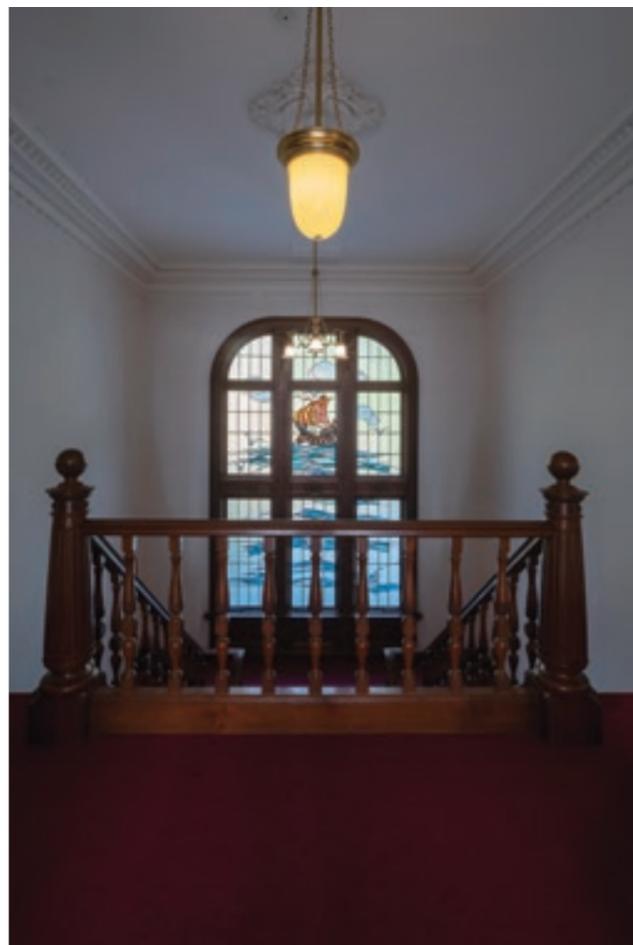
1階 東南のサロン



2階 中央の居間



1階 北側食堂



2階 ホール



2階 寝室

設計者:木子 七郎 きごしちろう
(1884年4月30日 - 1955年)

大阪を拠点に、多くの公共建築などの設計を手がけた建築家。とりわけ、妻カツの父 新田長次郎(新田帯革製造所(現ニッタ)創始者)の出身地である愛媛県に多くの名建築を残した。

1884年(明治17年)宮内省内匠寮技師の木子清敬の四男として京都に生まれる(兄に、同じく建築家の木子幸三郎がいる)

1896年(明治29年)高等師範学校附属小学校卒業。

1901年(明治34年)高等師範学校附属中学校卒業。

第四高等学校を経て、東京帝国大学工科大学建築学科に入る。

1911年(明治44年)東京帝国大学工科大学建築学科を卒業し、大林組設計部技師として来阪。

1913年(大正2年)大林組を退職し、木子七郎建築事務所を開設する。

その後、日本赤十字社病院嘱託、日本赤十字社大阪支部病院嘱託、合資会社新田帯革製造所嘱託なども務める。

1937年(昭和12年)フランスより、レジオンドヌール勲章を授与される。

1955年(昭和30年)逝去。



総務・財務委員会

委員長 都市空間設計(株)/松岡 邦吉

■ 共同要望活動

本年度は、愛媛県、松山市に共同要望活動の訪問をいたしました。
訪問できない市町については、共同要望書と協会要望書を送付いたしました。
共同要望実施状況は以下の通りです。

□ 愛媛県への要望と県の回答

令和5年1月6日(金) 県：川井建築住宅課長、橋宮繕室長ほか、協会：林会長ほか

○ 共同要望(日事連・協会)

(1) 業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化について

＜回答＞県では告示をふまえた設計料の積算、業務内容の明確化に努めており、追加等の業務にも必要に応じて変更対象にしている。今後も具体的な改善要望等を聞き的確に対応していきたい。

(2) 入札方式に偏らない評価方式の採用と適正価格の設定について

＜回答＞土木部のコンサル業務は、価格競争による指名競争入札であり、設計金額500万円超のものには低入札価格調査制度を適用しているが、令和4年6月以降は、新たに設計金額500万円以下のものに最低制限価格制度を導入した。また、より質の高い設計に繋がるプロポーザル方式等の採用については、引き続き貴協会の意見も聞きながら検討していきたい。

(3) 建築士事務所賠償責任保険への加入について(回答略)

(4) 建築C/P/D情報提供制度の実績活用について(回答略)

○ 協会要望

(1) 改修設計料の適正化について

＜回答＞改修設計料については、基準に基づく必要な図面枚数の算定を基本として、追加業務に関する所要の人役算定も行い積算している。受注者からのヒアリングなど実情に応じた価格となるよう努めているが、具体的な改善提案がある場合には積極的に協議を行いたい。また、参考設計見積りの徴取については今後必要に応じて検討したい。

(2) 設備設計技術者の育成と十分な工期の設定について

＜回答＞設備設計技術者の養成については、今年度の入札不調により技術者不足をより認知し、公共事業の適切な執行を図るうえでも検討すべき課題と認識している。その養成、確保については、官民の協力体制が重要と考えているので、引き続き業界団体とも協調して取り組みたい。学校の長寿命化改修設計など業務量の多い設備改修設計については、現地調査期間や市町等他の発注の状況もふまえて適切な工期設定に努めたい。

(3) 沿道建築物の耐震化補助への支援について(回答略)

□ 市町への要望 ※共同要望は共通

○ 協会要望

(1) 価格競争入札における最低制限価格制度等の導入

(2) 入札における地元事務所への配慮

(3) 予定価格の事前公表について

■ 諸規定の見直し

協会が発展する為に、「規定見直し」を今後も継続してまいります。



県との意見交換会



松山市への要望活動

会員のみなさまには、平素より当協会の業務・技術委員会活動にご協力賜り、誠にありがとうございます。

業務・技術委員会は、下記の方針にて活動に取り組んでまいりました。

- ・民間建築物における告示準拠の業務報酬基準の浸透
- ・建築士事務所の業務に係る各種基準等の策定
- ・既設コンクリートブロック塀に関する相談(無料点検)の継続実施
- ・現場見学会の企画・実施

今年度も昨年度と同様にコロナ禍の状況が続いたこともあり、主だった活動があまり活発にできなかったことを反省するとともに、心よりお詫び申し上げます。

そんな中、業務・技術委員会のメンバーである(有)柚山製材所ユヤマ構造設計2級建築士事務所代表取締役、柚山英二様のご協力により、「CLT・媛トラス活用施設」の構造見学会を令和4年10月6日に実施、令和5年2月7日に同建築物の完成見学会を実施することができました。

同建築物の施工会社、新日本建設(株)代表取締役の井上秀明様にも、構造見学会・完成見学会にご協力頂き、大変にありがとうございました。

今後は、ウイズコロナとして、感染対策にしっかりと取り組みながら、できる限りの委員会活動を積極的に取り組んで参りたいと思う所存でございます。

見学会等の情報がありましたら、事務局、また業務・技術委員会の方までご連絡頂ければ幸いです。

今後とも業務・技術委員会の活動に、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

以上



ブロック塀点検(榑井原工業提供)

会員委員会

委員長 AYA設計一級建築士事務所／武知 美穂

会員委員会では、コロナ禍に負けず、可能な範囲で事業を行いました。

5月の親睦ゴルフ大会（士会・協会合同）は松山ゴルフクラブで行い、18組71名の方にご参加いただきました。10月には愛媛ゴルフクラブにて、親睦ゴルフ大会を開催し、15組59名の方にご参加いただきました。屋外のイベントで参加し易いのもあったと思います。事業が少ない中、正会員・賛助会員の交流もできたのではないかと思います。



10月には、ボウリング大会と懇親会も開催し、ストライクが出るたびに歓声があがり、久しぶりの大勢での飲み会とあり、賑やかで楽しい時間でした。

12月には、建築士事務所新規開設者セミナーを開催しました。令和3年度の事業として、セミナーのテキストを小委員会メンバーで編集しましたが、コロナ禍で開催できず、今回やっと開催できました。セミナー後の忘年会に参加者を招待し、1社、入会していただきました。

今後も会員の皆様との交流や会員増強に向けて、事業を計画していきたいと思いますので、ご協力のほど、宜しくお願い致します。



建築士事務所新規開設者セミナー

教育・情報委員会

委員長 (株)大野設計／大野 仁

今年度、教育・情報委員会では、以下のような講習会等を実施しました。

- ① 建築士定期講習（5回 参加者計204名）
- ② 開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会（参加者41名）
- ③ 既存住宅状況調査技術者講習（オンライン参加者2名）
- ④ SDGsセミナー（参加者52名）
- ⑤ 設備設計実践講習～図面の見方と設計の基礎～（参加者43名）
- ⑥ 震災建築物の被災度区分判定基準復旧技術講習会

これら講習の内、コロナの良い影響で③や⑥はonlineでの受講が可能になり、講習受講可能時期や機会が増えました。



建築士事務所の管理研修会
「愛媛県の営繕・建築行政の最近の動向」
愛媛県 橘営繕室長

②については、建築士事務所経営にとって重要な内容ですので、登録更新の際や新規登録事務所、兼業正会員にも積極的に受講して頂きたいと思います。会員さんの中には、毎年受講いただいている方もいます。

今後も有益な講習会の開催実施を検討していきたいと思えます。会員の皆様の積極的参加をおまちしております。

設備設計実践講習 電気設備 初級編
講師：Dsプランニング 山形知靖



SDGsセミナー「SDGsの推進と地域材を活かした建築物」

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年に国連で全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」であり、経済成長・地球環境等に関する17のゴール、169のターゲットがある。今回、会員にSDGsへの関心を高めて、その取組みを促進していただくため、松山市SDGs推進協議会の協力を得て、SDGsの基本的理念と「ゴール11.住み続けられるまちづくりを」、「ゴール13.気候変動に具体的な対策を」等に密接に関わる地球温暖化と木造建築に注目したセミナーを開催し、2人の専門家に貴重な講演をしていただきました。

■開催年月日：令和5年2月9日（木）14:00～16:30（松山市二番町 愛媛県建設会館）

ここでは、講演を聴講した立場から、特に印象に残り皆様にも知っていただきたいことをごく一部だけ紹介いたします。（文責：事務局／黒河孝俊）



講演 I

「いまなぜSDGs? ～未来の建築が対応すべき自然環境について～」

愛媛大学国際連携推進機構教授 SDGs推進室・副室長 小林 修氏

・SDGsは課題である。課題はニーズであり、それに対応する仕事がある。この観点で仕事を取りに行くことによってSDGsを学ぶと良く、ニーズに応えることによって社会に貢献する仕事ができる。

課題を理解したうえで今やっている仕事が社会にプラスに効いていることを意識することが大切。レジリエントな地域・企業として持続可能な地域創生に寄与し、次の世代へバトンタッチしよう。



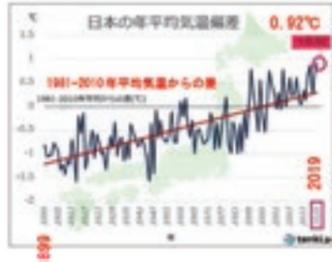
・5つのPがあり、17のゴールは、**People**（人間らしく暮らしていくための課題）、**Planet**（地球環境のために解決すべき課題）、**Prosperity**（経済活動、仕事、インフラ等繁栄のために解決すべき課題）と達成するために必要な**Peace**（平和）と**Partnership**（協働）である。最後の2つは今やガタガタである。2030年に17のゴールが達成できないのは、目標値が高すぎることに、PeaceとPartnershipがないことも一因。これだけ世界が戦っていたら出来るわけない。

・人新世（ひとしんせい：Anthropocene）という地質年代の概念があり、1950年頃から人類活動起源のものが降り積もりはじめ、二酸化炭素の量も急増してきた。私たちは、自らが作った環境の変化に体が耐えられなくなってきたので、心地よく暮らせる地球環境に戻す必要がある。昔の地球は暑かった。人間が暮らせる環境になったのは、動植物が大気中のCO₂を吸収して

埋まってくれ、大気中のCO₂が減って温度が下がったためであるが、化石燃料を掘って燃やすとまた昔に戻り暮らせなくなる。



・産業革命以前の地球の平均気温から人類が暮らせる的確な温度とされる上昇範囲が+1.5℃であり、食い止めようとしているが、今、+1.3℃くらいまできている。温暖化(+1.5℃)になると、干ばつのリスクが2.0倍、豪雨が1.5倍になると予想され、それに備えたインフラ、生活空間を作っていく必要がある。



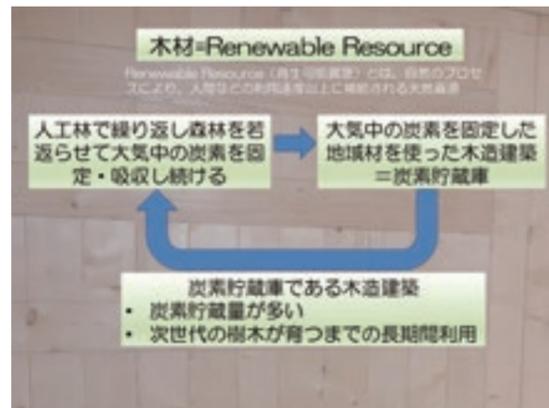
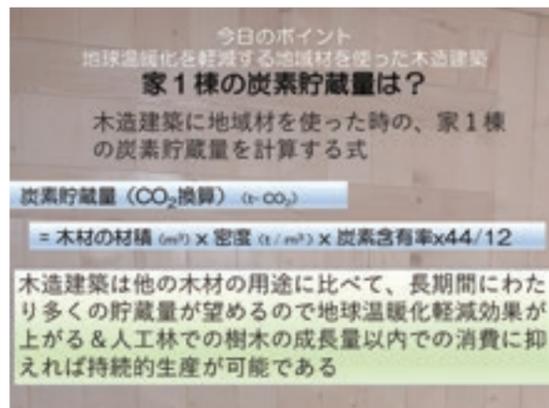
★小林先生は県産材100%の家を建て、木材をできるだけたくさん使う生活(薪ストーブ等)を実践されています。

講演Ⅱ

「地球温暖化を軽減する地域材を使った木造建築」
愛媛大学副学長・教育企画室長
農学部森林資源利用システム教授 杉森 正敏 氏



- ・木を使って地球温暖化軽減効果を上げるには次の3つがある。
- ① **炭素固定・貯蔵効果**：樹木が光合成の過程で大気中のCO₂を固定し、住宅や家具などの木製品の形で炭素を貯蔵する。
※木材輸送時の炭素放出量の抑制からも地域材が優位
- ② **エネルギー集約的資材の代替効果**：鉄、アルミ等の他材料に比べ木材は製造・加工時のエネルギーが少なくCO₂排出量が抑制される。
- ③ **化石燃料の代替効果**：カーボンニュートラルなバイオマスエネルギー



材積は設計図等から求める。これまでの研究例から木造住宅には0.2 (m³/m²) 程度の木材材積がある →100 (m²) の住宅で20 (m³)

= 木材の材積 (m³) x 気乾密度 (t/m³) x 0.87 x 炭素含有率 x 44/12
● この式の木材の密度は気乾状態の材積に対する全乾状態の質量の日である。ガイドラインには気乾密度が示されているので、0.87 (=100/115) を乗じる。

・20年前に実際の新築住宅の木拾い表からの算定や解体住宅の実測調査から木材使用量を求め、家1棟の炭素貯蔵量を算出したが、令和3年にやっと林野庁が貯蔵量の表示に関するガイドラインを制定した。
・木造建築1棟の炭素貯蔵量を計算してみてほしい。

・木造建築を長く使うということは利用中の二酸化炭素排出を抑制しないとイケない。抑制すると更に大きな効果がある。高断熱化や太陽光発電等のゼロエミッションも検討していただきたい。

広報・渉外委員会

委員長 (株)宮内古勝建築事務所/宮内 慎

当委員会では通年通り機関紙 JAAF えひめの発行に向けた取り組みを行ったほか、新たに SNS を活用した協会活動の発信や HP の充実など、主として次年度以降広く情報を発信していくための検討を行いました。

残念ながらどちらかと言えばその職務内容やその存在意義が一般の人々にあまり理解されていないこの業界。建築士事務所協会の活動や有意義な取り組みの数々を直接建築に携わらない方々やこれから建築を志す学生などに向けて広く発信することで、我々の仕事に対する理解が深まり、地域においても安心安全なまちづくりに繋がっていくのではないかと考えます。

本年は中四国ブロックで全国大会が開催されます。全国大会を機に未来に向けた地域の垣根を超えた新しい広報活動を構築できるよう、また、今まで行ってきた協会員への情報発信に留まらず対外に向けても有意義な情報を発信できるよう委員会として着実に歩を進めていきたいと考えておりますので、今後共広報・渉外委員会の活動へご理解ご協力のほど、よろしくお願い致します。



青年・交流委員会

委員長 (株)高橋建築事務所/高橋 朋子

2022年9月29日(木)

熊本市の「ラソールガーデン・熊本」において青年話創会が行われました。

【開催テーマ】つながる建築、つなぐ人～ブロック青年部会の構築、その先へ～ をもとに
①ブロック青年部会の設立とその役割 ②会員増強と次世代育成について各ブロックごとに討議を行い発表をしました。

討議においては与えられた時間をオーバーするほどに良い話し合いができ、他ブロックのお話もたくさん聞け、非常に実りのある時間を過ごすことが出来ました。

来年の全国大会は鳥取・島根県共同開催です。両県とも青年部が設立されていないのですが、中四国ブロックでの青年・交流組織の設立を目指し、ブロック内各県が協力して2023年の話創会を設営していくことになるのかなと思います。

2022年11月19日(土)

建築士会主催のバレーボール大会にお声掛けいただき、初めて愛媛県建築士事務所協会青年部(青年・交流委員会)で参加させていただきました。



建築士会、事務所協会の青年部の交流を深めるに当たりお声掛けいただき非常に感謝しております。

バレーボール未経験者ばかりで当日はどうかと思いましたが、建築士会様にはさほどご迷惑もかけずとても楽しい時間だったと思います。

2023年3月4日(土)、5日(日) アイテム愛媛にてお仕事フェスタ

今年で第12回目のお仕事フェスタに今年も講師として青年・交流委員が参加してきました。

いつも建築士ブースは大人気で開始から終了まで空かないほどです。

毎年喉が潰れそうになります(笑)

今年もたくさんの子供たちが建築士の仕事に興味を持ってきているようでとても嬉しかったです。少しでも参考になるように、そして建築士はとても魅力的な仕事だとお話をさせていただきました。

中高生でより現実的に建築士を目指している方も多く、より将来を見据えたお話を心掛けましたが大学進学の話になるとやはりこちらは消極的になります。

愛媛に建築科のある大学が無いというのはかなり寂しいです。建築士になりたいという気持ちはしっかり持ち続けてもらって、建築科のある大学に進学予定の方には卒業後はぜひ地元に戻ってきてもらって一緒にお仕事しましょう！と伝えました(笑)

今年のお仕事フェスタでは少しばかりコロナ明けに近い日常の雰囲気を感じられました。そして、こちらが子供たちから活力をいただきました。



支部報告<南予支部>

南予支部長 都市空間設計(株)/松岡 邦吉

令和4年10月20日公開建築パトロール

対象区域 宇和島市

参加者 CI設計 池田千代一

(株)宮田建設一級建築士事務所 奥田 賢司



愛媛県南予地方局、宇和島市、消防署、建築士会、及び当協会各2名の参加で建築現場における安全対策や建築基準法の確認を実施しました。

競技設計委員会

委員長 (株)大建設工務/正岡 秀樹

第45回愛媛県内高校生建築競技設計の経過報告

当協会のメイン公益事業として開催してきたこの競技設計も今回で45回目を迎えました。今回も過去2年と同様、コロナ禍の影響が心配されましたが、表彰式を縮小した程度で開催できましたことは、ご参加いただいた各校並びに後援団体、毎年会場をご提供頂いております DCM 株式会社様等関係各位の御支援御協力のおかげと、心より感謝致しております。

今回は、4校から一般部門として117作品、研究造形部門1作品の計118作品の応募がありましたが、特に図面枚数の多い3年生から49作品も応募があったことはたいへんありがたく存じております。令和5年2月2日にはDCM株式会社西日本店舗サポートオフィス8階大会議室において協会委員及び後援団体代表の方で審査会を行い、一般部門では1・2年生各18点、3年生19点、研究・造形部門1点、建築アート展チラシデザインコンテスト1点の入賞が決定致しました。



一般部門では、各学年とも例年にも増してレベルアップが見られ、特に3年生においては独創的な作品も多く審査員の頭を悩ませました。点数も拮抗し入賞以外にも素晴らしい作品が見られました。

協会では、昨年度から作品づくりの参考にしてもらおうと、出前授業を始めており、昨年度はコロナ禍のため一部オンラインでの授業となりましたが、今年度は8月から9月にかけて各校に会員が出向き、実際にプロの設計事務所が参加したプロポーザルの事例や作品づくりのテクニックなどの授業を行いました。また、鳥谷副会長のご尽力により授業風景を映像化し、授業に出席していなかった生徒さんも視聴できるようYouTubeで配信しました。出前授業に参加した審査員からは実施した甲斐があったとの声が聞かれました。

◆出前授業



松山聖陵高校



吉田高校



松浦講師



近藤講師



松山工業高校



東予高校



正岡講師

講義概要	講師
木造2階建 高校教育寮 (プロポ)	(株)松浦設計 松浦 洋
RC一部木造3階建 小中学校(プロポ)	(株)ATK design 近藤 岳志
作品づくりのテクニック	(株)大建設工務 正岡 秀樹

表彰式は令和5年2月17日、同会場にて愛媛県、松山市のご出席のもと開催しました。一昨年、昨年同様コロナ禍に配慮して出席者は上位入賞者に絞り、残念ながらプレゼンテーションは取り止めました。

入賞作品は第38回高校生建築アート展として、令和5年2月23日から3月5日まで、同社1階「ゆめ・みらい住まいの創造かん」にて開催し、各校の生徒さんやご父兄等、熱心に観覧されました。



川井建築住宅課長から知事賞授与



最後に各校の生徒さん、並びに関係各位に改めて御礼申し上げます。また、少子化により学校、学科の再編が取りざたされている昨今、本事業は建築を志す若者に絶好の機会と考えておりますので、各方面方々におかれましては更なる御支援御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【3年生講評】

今回作品を提出して下さった3年生のみなさん、またご指導いただきました諸先生方、ありがとうございます。今回は提出作品が例年に比べ特に多く、また魅力ある作品が数多く見受けられ、審査は大変でした。

コロナ禍が続き、人々の孤立化が進んでいる社会情勢を反映してか、人と人との触れ合いや、人々が集い合う施設等の作品が多いと感じました。今の3年生は、コロナ禍で高校3年間の学生生活に多大な制限を受けてきて、大変だったと思います。しかしそれ故に、この経験が「人と人との繋がり」の大切さを感じ取っている人も多くいるのではと思います。きっと、そういった経験が今後のこれからの人生に、良い意味で生かされることを確信しております。今後も、何事にも一生懸命取り組んでいってください。

※個別講評は作品紹介欄 (深見建築設計一級建築士事務所/深見 兼司)

【2年生講評】

我々の実際の業務では絶対思いつかない様なアイデア、若さゆえの大胆な発想を見せていただくのが、競技設計の審査をさせていただく上での醍醐味です。今回の受賞作品は、ただ変わっているというだけでなく、地域の景観や特性にマッチし、豊かな想像力でまとめられた力作揃いばかりでした。プレゼンテーションもとてもよく出来ていると思いました。

※個別講評は作品紹介欄 (株式会社花岡直樹建築事務所/花岡 直樹)

【1年生講評】

1年生の作品の課題は規定の図面の手書きによる複写ですが、線の種類や形状、文字美しさ、図面の綺麗さの三項目の審査です。

上位入賞者の内容はその三点共優秀な内容でした。惜しくも二項目は高点で他の一項目は低点、または一項目は高点で二項目が足を引っ張り入賞に入らなかった作品も存在しました。その三点の出来映えを比較することは何回も作品を廻り優劣を付ける作業はとて難しく、また楽しくも感じました。

今や電子化した製図も基本は手で描く図面が基本で、CADに変わっても手で描いた作品が高得点な方はCAD製図においても同じ表現が出来ると思うので、しっかり手で描く製図の基本三項目を身につけ、将来、是非建築の業界に入り愛媛の建築を盛り立てて欲しいものです。

(デザインシステム/井関 克徳)

3年生 愛媛県知事賞

「AIR_己が滯の下で」

吉田高等学校

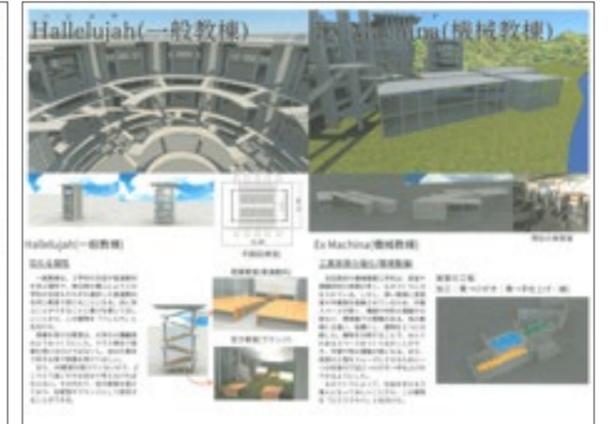
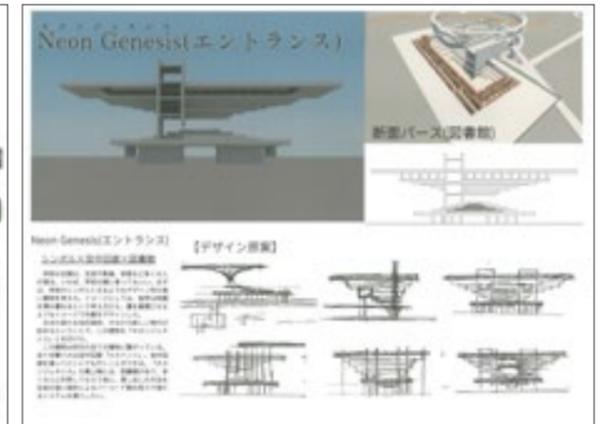
すぎやま はるか
杉山 遥



【感想文】

競技設計を終えて、やっぱり楽しかったです。前回の参加を機に、建築に触れる機会が多くなりました。有名建築を見に行ったり、本を読んだり多くの学びをし、私の人生の分岐点になりました。そのようなきっかけをくれた吉田高校に感謝を返すべく、新しき吉田高校、AIRを創案しました。

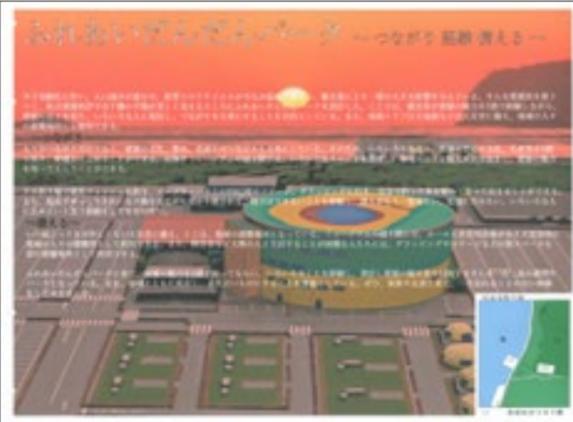
この競技設計を通して学んだ知識や経験や感性は、私にとって掛け替えのないものです。この様な機会をつくってくださった関係各位に心からの感謝致します。そして、私の青春の三年間を彩ってくれた、先生方、友人、本当にありがとう。次はプリツカー賞で会いましょう。



【講評】

現代社会の課題であるコロナ禍、またSNS中心の情報社会に於いて、「人と人との繋がり」が希薄になり、孤立化が進む社会にあって、自身の学舎を通して、各学舎棟の間に配置した空中回廊により、「人と人との繋がり」の場を自然に促し、その空間構成の発想の豊かさやプレゼン力に敬意を表します。

全てにおいて、技術・能力の高さを感じる作品でした。今後とも、建築設計を通して、豊かな感性を磨いていけることを切に願っております。



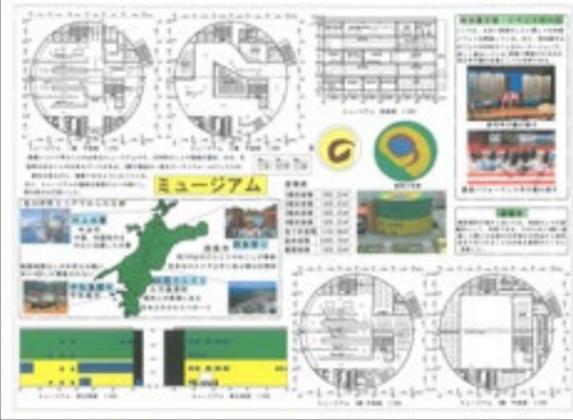
3年生 愛媛県教育委員会教育長賞

「ふれあいだんだんパーク」
 松山聖陵高等学校 **ふくやま ちえり 福山 智恵利**



【感想文】
 私は愛媛の観光業を支え、愛媛の魅力を知ってもらうための施設、ふれあいだんだんパークを設計しました。始めに愛媛の歴史や文化、名産等について調べました。自分自身、愛媛のことを深く知ることができ、愛媛のことをもっと好きになりました。そこから、愛媛のことを主体にしながら、今までに学んだことを生かした設計にすることを頑張りました。
 特に、5感で感じられるような設計にすると苦戦しました。今回の設計から学んだことや経験したことをこれからの建築の勉強や生活に生かしていきたいです。

【講評】
 コロナ禍で衰退している地域の観光業の復興に寄与したいとの思いが伝わってくる作品でした。ミュージアムあり、温泉施設あり、レストラン、BBQやコテージもあり、愛媛の魅力、地域との繋がりを考慮した設計で、各ゾーンを整理した配置計画は高く評価しました。



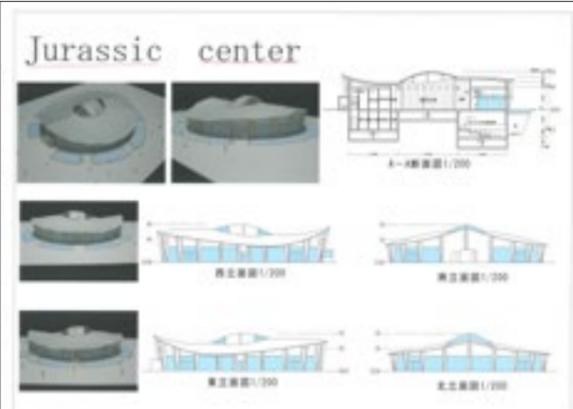
3年生 松山市長賞

「Jurassic Island」
 松山聖陵高等学校 **むらかみ けい 村上 慶**



【感想文】 今回、私が製作した「Jurassic Island」は昨年公開された映画「ジュラシック・ワールド/新たなる支配者」から着想を得ました。
 私は、この規模の建築に挑戦するのは始めてでした。鳥一つ分ともなると、普段設計している住宅などと違いスケールが何千倍も大きく、最初は設計するのにとても苦労しました。アイデアがうまくまとまらず、書けなかった部分もあります。数値がずれたりして大変でした。
 何でこんな物やろうと思ったんだろうと自問自答したこともありました。ですがこの設計を完成させたことによって一段階自分が成長したと思います。この経験を糧に専門学校ではさらに成長したいと思います。

【講評】 離島、中島をモデルに、恐竜アミューズメントパークを計画し、過疎化が進む離島に活力と知名度を押し測るといふ、とても面白い興味深い作品でした。メインとなる「Jurassic center」の円形の建物は、屋根の曲面や外観フォルムも大変魅力的でした。動線も良く考えられていると思います。
 将来、こういったアミューズメントパークが愛媛にできれば楽しいですね。



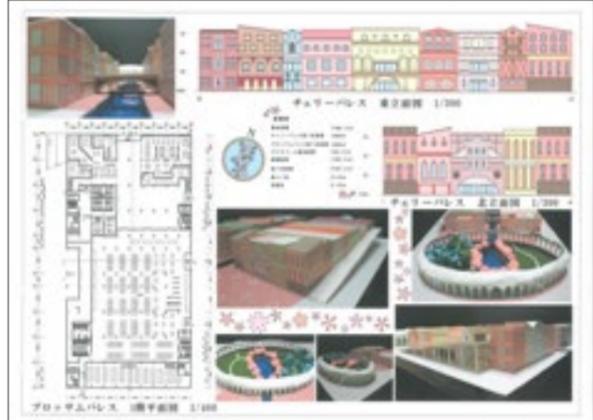
3年生 (一社) 愛媛県建築士事務所協会 会長賞

「さくら town
 ～東温に新しい娯楽の場を～」
 松山聖陵高等学校 **やの らな 矢野 楽南**



【感想文】 今回私は、自分が設計した建物が東温市にとってより豊かになるにはどうすればいいかを最初に考えました。そこで、東温市には娯楽施設が少ないこととICができることを視野に入れてさくら town を設計しました。これまでとは比べ物にならない規模の建物で最初は苦戦しましたが、完成1週間前ぐらいから描き始めた2つのパースは時間がなく特に苦労しましたが自分が納得のいくものに仕上がりました。約半年間、さくら town のことを考えて過ごした日々はとても有意義で濃い時間でした。

【講評】 ディズニーランドやUSJのショッピング施設を創造されるような魅力的な建築群、外観の色合いも「さくら town」とあるように、さくら色を中心とした夢のある別世界に訪れたような雰囲気を出した作品だと感じました。こういうショッピング施設が東温市にできれば、遠くから家族連れでたくさんの方が来て、地域経済発展の拠点シンボルになりそうですね。名前で男女の判断はできませんが、恐らく女子学生の作品だと推測しました。プレゼン能力の高さを感じる作品でした。



2年生 愛媛県教育委員会教育長賞

「立ち湯温泉『ゆっ蔵』」
 松山工業高等学校 **この いぶき 河野 伊吹**



【感想文】
 今回の競技設計を終えて建築の奥深さ、難しさを知ることができました。設計は自分がイメージした通りにいかないことばかりでした。一つ訂正するとそれに連動して全体も変わるため、終わりが見えず落ち込むこともありましたが、そんな中でも、一緒に高みを目指した友人や、夜遅くまで付き添ってくれた家族のおかげで、今回とても名誉ある賞を受賞することができました。この競技設計を通して学んだことを活かし、さらに多くのことを身につけて設計のスキルアップにつなげていきたいです。



【講評】
 採算性はともかく、こんな温泉は初めて、是非入りたいな、と感じました。酒樽と酒蔵のマッチングも面白く、内子の景観にも溶け込むようなデザインで素晴らしいと思いました。樽テラス等の外構の計画、また住宅もコンパクトにまとまったいいプランです。

【感想文】

競技設計という自分たち高校生が日々の学習の成果を発揮する場を設けていただきありがとうございました。昨年は、入賞できなかったため、今年は上位入賞を目標にできました。そして、自分の納得できる作品を完成させることができ高く評価していただいたことは自信につながりました。また、建築についてより興味を持ち、学習意欲が向上しました。最後に、先生方や両親、先輩方などからの支援に感謝したいと思います。



2年生 松山市長賞

アートカフェ「ファスケス」

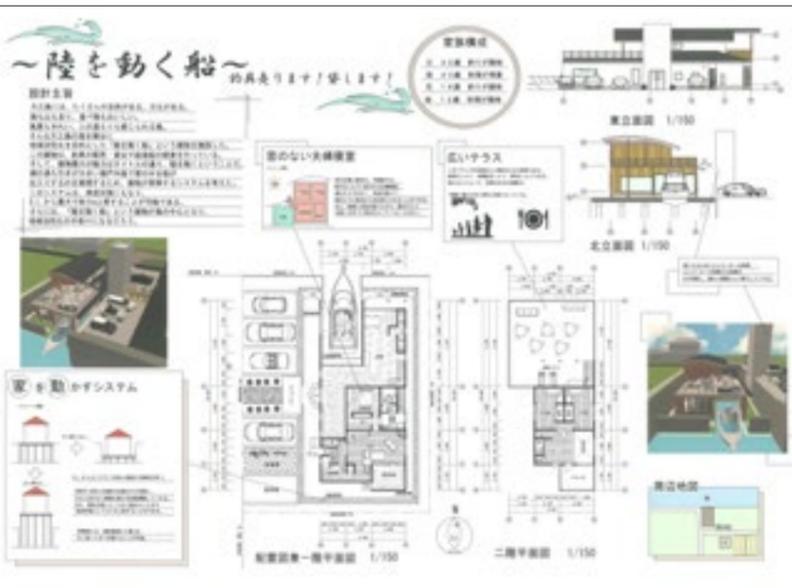
吉田高等学校
あさい けんたろう
浅井 健太郎



【講評】

カフェとギャラリー、コミュニケーションを一番重視した計画で、外観の形や「木」の素材感も計画にマッチしていると思います。住居スペースの時代に沿った変遷の考察もよく出ています。中央の筒部分を含めた軸組計画もいいですね。

2年生 (一社) 愛媛県建築士事務所協会 会長賞



「～陸を動く船～」

松山工業高等学校
しげみ こうが
重見 航雅



【講評】

現実性はともかく、建物を上下に動かす、という発想は今までに見たことがなかったです。津波対策も考えているとは！広いテラスは遊漁船で釣りに行った人や釣り具を買いに来た人の楽しい空間になりそうです。夫婦寝室の採光についてもよく考えられています。

【感想文】 今回の競技設計は、CADの使い方・建築の知識など学ぶことができ、とても楽しかったです。また、建築科の先生方や友人の助けもあり、この賞を掴むことができました。

もちろん楽しいことだけではありませんでした。先生から鋭い指摘を受け落胆することや、部活後に実習室で夜遅くまで作業することもありました。しかし、この苦しみがあったからこそ最高の思い出となりました。

来年は、今年感じた悔しさを糧に県知事賞を獲りにいきます。



1年生 愛媛県教育委員会教育長賞

松山工業高等学校 定時制
わたなべ しょうた
渡部 翔太



【感想文】

今回、愛媛県内高校生建築競技設計1年生部門で「愛媛県教育委員会教育長賞」を受賞することができ嬉しく思います。製図コンクールに参加することは初めての経験でしたので、身に付けなければならない基本的なことや知識がたくさんありました。作品の線は、線の種類に応じた太さや濃く書くこと、そして角を丸くしないことを特に意識して書きました。また、文字と数字は、大きさと傾き、間隔に注意して書きました。製図は、授業が始まる前の4時間と週2時間の授業、冬休みを利用して完成させました。限られた時間の中で集中して書くことができました。設計図は、ものづくりの作業の一つですが、どのような作業をするにも最初の計画と段取りが、大切であることが分かりました。また、今回の製図では、一つ一つの作業を丁寧にやる大切さと、ものづくりの面白さに気づくことができました。今後も、沢山のものづくりを経験することで、多くの知識や技術を身に付けていきたいと思っています。最後に今回の作品にアドバイスを下さった先生には感謝しています。

1年生 松山市長賞

吉田高等学校
わたなべ かなと
渡辺 奏音



1年生 (一社) 愛媛県建築士事務所協会 会長賞

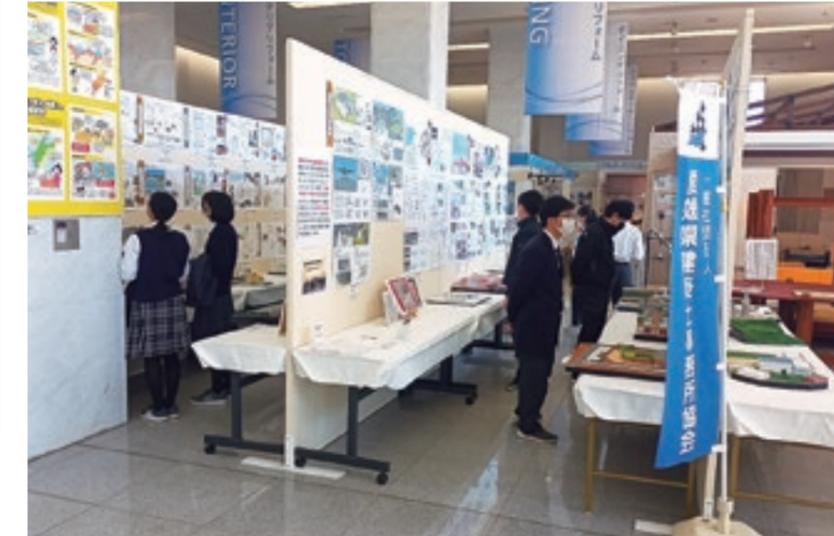
松山聖陵高等学校
はらだ かれん
原田 佳恋



出前授業のYouTube 配信 (限定公開)



建築アート展チラシデザイン
コンテスト 最優秀賞
河原デザイン・アート専門学校
グラフィックデザイン科 河端 七緒



団体	学年	1年生	2年生	3年生
愛媛県知事賞				吉田高等学校 すぎやま はるか 杉山 遥
愛媛県教育委員会 教育長賞	松山工業高等学校 定時制 わたなべ しょうた 渡部 翔太	松山工業高等学校 こうの いぶき 河野 伊吹	松山聖陵高等学校 ふくやま ちえり 福山 智恵利	
松山市長賞	吉田高等学校 わたなべ かなと 渡辺 奏音	吉田高等学校 あさい けんたろう 浅井 健太郎	松山聖陵高等学校 むらかみ けい 村上 慶	
(一社) 愛媛県建築士事務所 協会 会長賞	松山聖陵高等学校 はらだ かれん 原田 佳恋	松山工業高等学校 しげみ こうが 重見 航雅	松山聖陵高等学校 やの らな 矢野 楽南	
(一社) 日本建築士事務所 協会連合会 会長賞	松山聖陵高等学校 こうの しゅんや 河野 隼也	松山工業高等学校 かん はなび 菅 はなび	松山聖陵高等学校 わだ しずく 和田 穩空	
(一社) 日本建築学会 四国支部 支部長賞	松山聖陵高等学校 みなみ まい 南 舞	松山工業高等学校 おの りょうた 小野 凌太	松山工業高等学校 くすもと ゆうと 楠元 悠斗	
(公社) 愛媛県建築士会 会長賞	松山聖陵高等学校 にしま たいよう 西山 太陽	松山工業高等学校 やまおか ひなた 山岡 日向	松山工業高等学校 たにもと しょう 谷本 翔	
(公社) 日本建築家協会 四国支部 支部長賞	東予高等学校 むらかみ あいり 村上 愛梨	松山工業高等学校 おおひら つかさ 大平 司	東予高等学校 わたなべ そうた 渡邊 颯太	
(一社) 愛媛県建設業協会 会長賞	東予高等学校 たまい みお 玉井 美桜	吉田高等学校 きくち のぞむ 菊池 望	吉田高等学校 にのみや ゆうしん 二宮 悠慎	
(株) 愛媛建築住宅センター 社長賞	東予高等学校 ひらつか らいふう 平塚 頼阜	松山聖陵高等学校 はしもと そうた 橋本 将汰	松山工業高等学校 かとう じゅん 加藤 純	
愛媛新聞社社長賞	東予高等学校 そがべ きょうすけ 曾我部 響介	松山聖陵高等学校 のむら ゆうたろう 野村 勇太郎	東予高等学校 じんの わたる 神野 航	
NHK 松山放送局 局長賞	松山工業高等学校 まるやま るか 丸山 琉佳	松山聖陵高等学校 ひらおか りおん 平岡 凜桜	松山工業高等学校 きのした きこ 木下 姫子	
南海放送社長賞	松山工業高等学校 ふじひさ まな 藤久 愛	松山聖陵高等学校 ひょうどう ひろな 兵頭 弥奈	東予高等学校 さかまき しゅうと 酒巻 秀斗	
テレビ愛媛社長賞	松山工業高等学校 きだ みおり 木田 美織	松山工業高等学校 あべ てるまさ 阿部 暁大	松山工業高等学校 たけだ ちお 武田 千桜	
あいテレビ社長賞	東予高等学校 みやけ あきと 三宅 晃冬	松山工業高等学校 いしごき あおい 石崎 碧海	松山工業高等学校 ほりい はるき 堀井 陽貴	
愛媛朝日テレビ社長賞	東予高等学校 うつのみや まい 宇都宮 舞	松山工業高等学校 いずもと みう 泉本 美羽	松山工業高等学校 きくち しんたろう 菊地 新太郎	
愛媛CATV社長賞	松山工業高等学校 こはら ゆき 小原 有稀	松山聖陵高等学校 おかもと ゆずの 岡本 柚乃	松山工業高等学校 にしばた ひとき 西畑 仁喜	
建通新聞社 四国支社 支社長賞	松山工業高等学校 おおもり さよ 大森 彩代	松山工業高等学校 やまもと ゆうか 山本 優香	東予高等学校 ひらつか せいふう 平塚 聖阜	
(一社) 愛媛県建築士事務所協会 競技設計委員長賞	松山工業高等学校 おおうち はると 大内 陽斗	東予高等学校 とよだ ゆうが 豊田 悠賀	吉田高等学校 せいけ いっき 清家 一揮	松山聖陵高等学校 おとい けいすけ 乙井 景介
アート展チラシデザイン コンテスト最優秀賞	河原デザイン・アート専門学校 グラフィックデザイン科 かわばた ななお 河端 七緒			

高校生建築競技設計入賞者のその後

～(株)富士造型 設計室 建築部3課 大竹 萌花さん(もか)に会ってきました～

短大で建築を学び、CADオペレーターをしていた母の影響もあり、幼少期からお絵描きと立体模型が好きだった大竹さんは、街中の立地も魅力で松山工業高校へ進学、建築学科で自分の得意分野を磨いていきます。小学校から亀やとかげを飼育した経験を活かした設計「爬虫類カフェ」で2年生の競技設計に挑みました。亀の口が入り口で、亀に飲み込まれるように店内へ入ると陸ガメが出迎え、トカゲが日向ぼっこする癒し系カフェは、入賞を逃してしまいます。3年時は、愛車との時間を大切に過ごす場所、サイクリストの秘密基地「サイクルベース」の設計で再チャレンジし、入賞を果たします。愛車ででのバーチャルツーリング体験やSNSで多くのサイクリスト同志の情報共有もできるこの構想は、現在、どこかで実現されているかもしれません。



社会人二年目の大竹さんですが、高校時代の恩師から、個性を貫き独自の世界観で生きる大切さを伝えてくれた「変態になれ!」という言葉大切にされているようです。

◆現在の主な業務：○詳細な打ち合わせや現場へ出向きながら、営業のサポートとしてのプレゼン資料や建築模型づくりを担当
○SNSでの会社のイベント情報の管理(取材時は4人の建築家展の発信)

◆あなたの強みは? : 色々なソフト(JWWCAD, ベクターワークス等々)を使えます!
パソコン扱いは得意だったが、入社後先輩方の指導のおかげでレベル

◆好きな建築家: 坂 茂(ばん しげる)氏(高校の時から)

◆ストレス解消法: ユニコーン(奥田 民生さん)の曲を聴くこと(しぶい! (笑))
: 建物を見に行こうかな～と思いついたら、ソロツーリング(愛車はHONDA250ccの「ジェイド」)
➡ 声をかけてもらうことも多く、ライダー同志のフレンドリーな距離感が心地良いとのこと。

◆5年後は? : 場数を踏んで、高校の恩師がアドバイスしてくれた「現場をわかる設計士」になりたいな(笑)

◆10年後は? : 「今はサポートとして住宅に関わっているけど、知識を蓄えて自分から提案できるようにになりたいです。」
と取材の数日後、自分の気持ちに真摯に向き合ってくれました。

◆建築部3課土居課長からのエール:
「彼女は住宅模型が作れる社内で唯一無二の存在で、責任感も強く与えられた仕事は着実にこなします。今後は建築士等の資格取得にチャレンジし、さらにできる仕事の幅を広げて活躍してくれることを期待しています。」・・・私も応援してます!

(株)Deco / 處 淳子

第44回建築士事務所全国大会熊本大会に参加して

新企画設計株式会社 林 貞義



令和元年10月の福島大会以来、3年振りの熊本大会が、昨年9月に熊本城ホールにて開催されました。愛媛県からは中四国ブロックでは最多の20人での参加でした。

「大自然の脅威に耐えて今、そして未来へ」をテーマとした「大会式典」「基調講演」「パネルディスカッション」を通して、自然災害を克服し、安心安全な街づくりの実現に向けての有意義な大会だったと思います。

大会翌日、復興の様子が観られる安全な見学通路に沿って、復興が進む熊本城を見学しました。広大な城内には、手が付けられていない崩れた石垣が多く見られ、被害の大きさと、城全体の復興の早さに驚きを感じた一日でした。

株式会社日創設計 濱本 泰久



熊本への訪問は約半世紀以上ぶりでした。第44回建築士事務所全国大会（熊本大会）に参加させて頂き、いい刺激となりました。

まずは、九州新幹線でした。そして、会場：熊本城ホール…式典内容も立派なものでした。記念パーティーも活気がありました。

翌日の、熊本城復興状況視察もエネルギーを感じました。建築士事務所全国大会の度重なる延期にもかかわらず、開催されたことは賞賛に値すると思います。

今年の「鳥取・島根大会」も楽しみにしています。

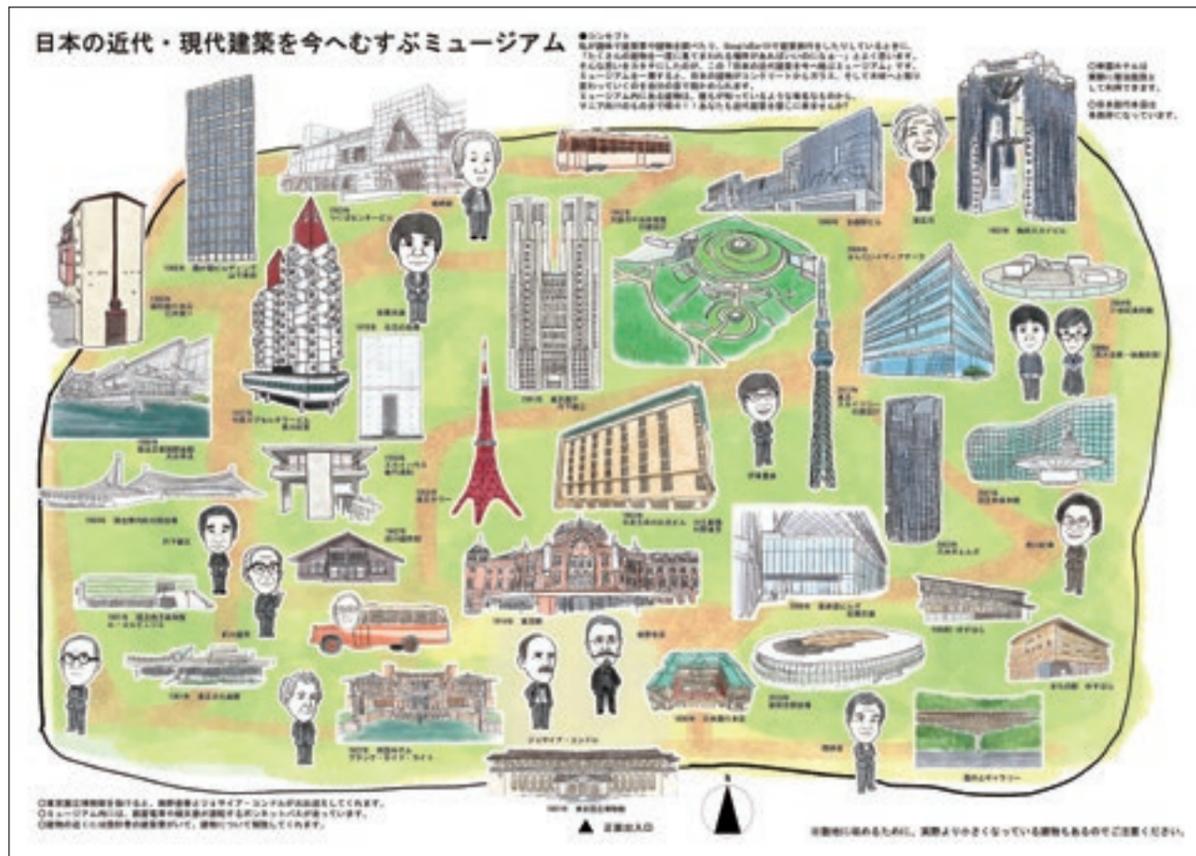
AYA 設計一級建築士事務所 武知 美穂



久しぶりに全国大会が開催され、皆様と参加できたことを嬉しく思います。

熊本城の復興状況の見学をし、今更ながら、災害の甚大さを痛感しました。災害地を直接視察することは、どんな資料を見るよりも、衝撃が大きいです。

親睦ゴルフ大会では、石川会の方と同組になり、ゴルフを通じて交流できたことがとても良かったと思います。愛媛会の懇親会・ゴルフ有志の交流会では、熊本の郷土料理を堪能し、充実で楽しい全国大会でした。



大竹さんはまだ行ったことはないそうですが、江戸東京たてもの園（文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元、保存、展示する野外博物館）の現代建築バージョンですか？と思わせるこの作品は大竹さんが高校生時にすべて手書きで描いたミュージアム案とのこと

このイラストを肴に建築談議に花が咲き、コロナ禍で制約を受けていた建築ツアー！！の計画もが盛り上がること、間違いなし！です！

ブラボー！！



学生時代 コンペ初挑戦の作品



令和2年度 高校生建築競技設計 入賞作品

防災士資格取得支援

マルマストリグ株式会社 / 河野 行信

全国大会、今回初めて参加させていただきました。出発前は分からないことだらけでしたが、ワクワクしかない！という心意気(?)のもと松山空港から飛行機と九州新幹線乗り継いで、熊本入り。

人生で熊本は2回目ですが前回のときの記憶が薄く、今回は熊本の食文化に触れることを自身のサブテーマとして臨みました。ということで、ついですぐのお昼は熊本ラーメン。とんこつスープと焦がしにんにく油のハーモニー、そしてそこに中太麺&チャーシューが……。熊本食文化ファーストタッチは完璧。



そして大会会場へ。式典での主催側やご来賓の方々のご挨拶を拝聴しながら、このような大会が毎年開催されることで日本の設計業務やその責任等々多くのことがブラッシュアップされていくのだと実感しました。

また伊東豊雄氏の講演会では、ちょうど数年前に訪ねた岐阜にある「ぎふメディアコスモス」とこれから行ってみたい仙台の「せんだいメディアテーク」の話が大変興味深く、生で聞いたことは大変良かったです。また、日事連建築賞国土交通大臣賞に徳島の阿波銀行本店営業部ビルが選ばれていましたので、是非見に行きたいと強く思いました。(実際次の週の徳島出張時に訪ねましたが素晴らしかったです。)

そして式典も終わり、本日のメインイベント(あっ、あくまでも大会がメインですが)である懇親会に。お店の名前は「城見櫓」。名前に違わず熊本城天守閣の夜景がきれいに見える最高のシチュエーション。お料理も馬刺しやからし蓮根等大変美味しく、また地元の焼酎を堪能しながら参加された皆様と貴重なお話をすることができ、おかげさまで贅沢な時間になりました。ホテルの近くでしっかり締めめのラーメン(また?)もいただきました。

2日目の観光の目玉は熊本城と水前寺成趣園。熊本城に関しては2016年に発生した熊本地震で被害を受けてから、まずは昨年天守閣についての復旧工事が完了したそうでその勇壮な姿を見ることができましたが、しかしお城全体の復旧工事としてはこれからのところも見られ、地震の凄まじさと復旧工事に対する地元のエネルギーを感じました。水前寺成趣園については約350年の歴史がある広大な大名庭園の魅力を園内散策しながら体感しました。

来年の大会は米子ですね。可能なら是非参加したいです。

今回の大会では皆さまと大変楽しく交流させていただき、また馬刺しをはじめ熊本の食文化も楽しめ、おかげさまで有意義な時間を過ごすことができました。

ということで、最後に「なぞかけ」を……。今回の大会参加メンバーの仲とかけ、熊本の焼酎と解く。その心は……。どちらもウマが合うでしょう。

ありがとうございました。

(有)アーキフォルム一級建築士事務所 / 佐々木 世希

今回が2度目の熊本訪問。初めて熊本を訪れたのは平成元年協会主催の第2回シンポジウム「景観からのまちづくり」のなかで、アートポリスについての基調講演をお願いした、熊本大学の先生との打ち合わせであった。先生との1時間の打合せに2日かかりで訪問した思い出がある。

あれから33年、アートポリスの成果だと思われるが、街並みはおしゃれな感じで、熊本駅前ビルの看板も統一され、近くの交番も覗きたくなるような親しみのあるデザインがされていた。アートポリスが地元建築士のレベルアップにも貢献したように思われる。我がまち愛媛も見習いたいものである。

県都松山市は基礎自治体の中で全国一の防災士数を誇ります。

2021年に県から、防災士資格取得促進の依頼があり、協会は継続して防災士講座受講及び登録費用の助成を行っています。今年度受講された方々の感想を紹介します。

防災士認証登録者数 2023年2月末現在 19,822人(愛媛県) / 250,440人(全国)

■防災士養成講座を受講して

この度は、貴会に助成していただくことにより、防災士養成講座を受講するきっかけになりました。ありがとうございました。

私は、古民家のリフォームを主として仕事をしていますが、その際、お客様に災害時の備えや避難経路の説明等を行うようにしています。また、自分の身を守ることを考慮し、自身の家に災害時の持ち出し袋の用意や、避難場所やハザードマップの確認を行い災害時に備えています。今後も防災士として、地域に貢献できるよう努めてまいります。

AYA設計一級建築士事務所 / 武知 正義

まずは防災士としての知識を少しでも生かせるように、自らの行動や従業員の生命の安全確保を図るよう努めて行きたい。又、弊社BCPの策定と地域コミュニティにおける共助による防災活動にも、少しでも貢献できればと考えております。

特に、今後30年以内に70~80%の確率で発生するとの予測がある南海トラフ地震に対して、弊社は建設業として地域やお客様に対して、いかに備えるべきか又、何が必要かを従業員と一緒に考えて行きたいと思っております。

(株)富士造型 / 渡辺 功一

防災士の養成講座を受験する機会をいただき、ありがとうございました。漠然と、防災は必要と認識していましたが、防災対策・知識は、どこか他人の意識がありました。今回、防災に関する様々な立場の方から、貴重な勉強をさせていただき感謝すると共に、全ての方が、生活する上で知っておくべき内容だとも思いました。資格を得てからの私は、災害報道などの見方が大きく変わりました。今後は仕事・家庭・地域の関わる方々との防災意識の情報共有、いざという時に実践に生かせるよう今後も継続して防災に対する知識・行動を高めたいとおもいます。

大建工業(株) / 合田 圭介

会社からの勧めで防災士を取得しました。災害を学ぶ機会が少ない中、このような機会をいただきありがとうございました。松山は平穏で災害の少ない土地で、私自身、災害の経験はほとんどないに等しく、そんな私が防災士になっても果たして良いのかと思っておりましたが、勉強を重ねていく中で、災害を学ぶことの重要性、身近な人達と災害を共有することの大切さを感じました。防災の観点から個人でできること、企業としてできることを模索していきたいと思っております。

上田消防建設(株)松山店 / 高木 秀泰



会員作品紹介

伊手邸

ハーモニークコスモス二級建築士事務所

開設者・管理建築士／井上 静雄

【設計主旨】

大工や製材所の減少化、高齢化も進み大工を取り巻く環境は危機的であることに直面した。今回の設計では、地域の大工に伝統構法の仕口や継手などの、構造の加工をする機会を作ろうと目論んだが、引受け手が存在せずプレカット工場に加工をお願いした。

当然ながら全ての納まりの実寸を把握して工場の施工図に反映しなければならない。デジタルに変換する手間は膨大で、責任が伴った。同時に大工の技法継承の重要性を思い知った。

耐震壁は、地震で筋交いが損傷し、二度目の強震で倒壊した事例から、筋交いと金物を使用せず、貫のめり込みにより粘りを発揮する「五段貫の耐力壁」とした。

特有の山路風に対し屋根を深くして、窓の解放性や、外壁の劣化軽減につなげた。

後世に使い続けてもらう為に、内部は各室壁ごとに断熱を施し、温熱環境に配慮した。床は根太レス断熱、厚板敷とした。全体に材料は無垢材を加工し、収納や家具を手仕事で作り付けとした。

- 建築場所 北宇和郡鬼北町大字川上1555
- 構造・階数 木造1階建て
- 延床面積 102.14㎡
- 完成年月 令和4年1月
- 施工者 ハモニーク工房株式会社



久保家住宅

(国の登録有形文化財 2023年2月登録)

AYA 設計一級建築士事務所

開設者・管理建築士／武知 美穂

【設計主旨】

道後の久保家住宅は、明治27年(1894年)、道後温泉本館の建立と同年に建築されました。

当初は、隣接する久保医院の居宅及び来賓の接待に利用されていました。かつては、夏目漱石が足しげく訪れていた、ゆかりのある建物です。医院閉院後は、久保家の子孫の邸宅として利用されていましたが、十数年前から空き家状態となっていました。

2020年に、主屋を店舗として賃貸することになり、設計監理依頼がありました。後に、文化財として登録することを前提に、現状を活かし、木部をできるだけ傷つけないようにしました。広い空間が必要な厨房部分は、敷居・鴨居などを軽量鉄骨と防火板で覆い、将来、元に戻せるようにしています。

2021年～2022年にかけて、表門・塀・待合・仕切門の改修における設計監理も行いました。土台と柱脚部分が雨水による不朽が著しく、倒壊の恐れがあったため、耐震補強を兼ねた修復工事となりました。瓦を下ろし、塀全体をジャッキアップし、柱脚部を切断、基礎を新設し、新しい土台を入れ替えました。瓦は苔の付いた状態で保管し、屋根下地を修復後、緊結しながら葺き替えしました。塀の板割りや釘の寸法・本数も、忠実に復元しています。

道後温泉街の玄関に佇み、観光客が必ずと言って良いほど目にする建物です。長年、門が閉ざされ、一般公開することがありませんでした。店舗として活用されたこと、愛媛が誇る歴史的建造物がひとつ増えたこと、また、その仕事に関わったことを幸せに思います。

- 建築場所 松山市道後湯之町3-15
- 構造・階数 木造1階建て
- 延床面積 183㎡
- 完成年月 主屋 2020年12月 門塀 2022年3月
- 施工者 主屋 三森建設(株) 門塀 (株)エコミン



肱川中学校

(株)中央設計

開設者/中岡 潤・管理建築士/中岡 数夫

【設計主旨】

大洲市がPFI事業で進めている長浜中学校に続き、同様に整備された「肱川中学校」です。

この地域は肱川エリアのほぼ中心にあり、上流には四季折々の表情を見せる鹿野川ダムがあり、肱川と河辺川の合流地点に位置し、空気が澄んだ緑豊かなところです。

敷地は周囲を山と川に囲まれた形状で、災害発生に伴う斜面崩壊及び、護岸崩壊等地域特性を把握したうえで、学校施設への影響を最小化し、安全面に配慮した配置計画とし、特に、新水稲の水害の影響を受けないよう校地全体を2m嵩上げ造成したため狭くなり、体育館と校舎を一体化して1階に管理諸室や多目的ホール2階にアリーナを配置した特殊な構造としています。アリーナは地域交流や災害時の避難場所を考慮し、県道から最短で直接アプローチできる配置とし、生徒の健やかな健康づくりの場として、自然再考・自然通風に配慮した明るく快適で開放的なアリーナとしました。校舎は、両端に階段を設置することで行き止まりの無い安全性の高い避難と李全盛を考慮した動線構成とし、各諸室は、南に面した明るい環境に配置し、山と川の潤いのある学習環境にしました。

アリーナと校舎を各界でつなぐ屋内通路を作り、雨天時でも雨に濡れることなく、利用できるようにし、地域海保エリアと教室棟の非開放エリアは廊下部分で明確に区分しました。

普通教室棟の諸室は、肱川地域の気候風土や季節の変化及び立地条件を考慮し、日照・採光・通風等を効率的に利用できる様、環境に配慮した校舎にしました。

- 建築場所 大洲市肱川町 山鳥坂282番地
- 構造・階数 RC造 3階建
- 延床面積 3,320㎡
- 完成年月 令和4年12月
- 施工者 (株)大洲学校 PFIサービス



某社社員寮

(株)シアテック

開設者/倉田 房雄・管理建築士/間崎 俊彦

【設計主旨】

建家は、中央棟と北棟(N-Wing)、南棟(S-Wing)の3棟で構成されており、中央棟には、共用部分を集約し、北棟・南棟は寮室専用棟として配置しています。メイン入口のファサード部分にはカーテンウォールをあしらいシンボル性を高め、建家の配置については伸び行く某社をイメージして翼を広げた形状としました。

内部の諸室配置計画においては、中央棟にコア・共用スペースを集約し、寮棟へは、必ず共用スペースを通ることで寮生間のコミュニケーションの活性化を図る動線としています。中央棟のパーティールームやコミュニケーションルーム等は防音仕様とし、使い方を限定せず、多目的に利用できるスペースとしました。

本設計では、プロジェクト関係者の方々と、図面では伝わりにくい空間を確認頂くツールとして『BIM』や『ウォークスルー』を活用しました。本ツールは実際に使う人の目線に合わせて(バリアフリー寮室は車いすの高さに)バーチャル体験して頂くことで、事前に建物をイメージすることができ、また、仕上材料や色決め、家具の選定等にも役立ちました。

- 建築場所 愛媛県新居浜市一宮町
- 構造・階数 RC造 5階建
- 延床面積 7,584.02㎡
- 完成年月 令和5年2月
- 施工者 鹿島建設株式会社



松山東警察署

(株)綜企画設計 松山支店

開設者/原 澄雄・管理建築士/篠森 啓一

【設計主旨】

・高い耐震性と安全性を確保するため、SRC造の採用と共にエレベーターや階段などの共用部廻りに耐震ブレースを設け、災害発生時の防災拠点として非常用発電設備を設置しました。

・階層によって異なる平面計画に対応するため、外周部に執務室エリア、中央部に共用エリアを配置したセンターコア方式を採用し、将来の間仕切り変更にも柔軟に対応できる平面計画としました。共用エリアには設備スペースを集中配置することで、維持管理のしやすい計画としました。

・昼光を積極的に利用することによる照明エネルギーの削減、縦ルーバーによる西陽遮蔽や断熱性の高いLOW-E ガラスを採用することによる空調負荷低減など、パッシブな省エネルギー手法を積極的に取り入れました。

・来庁者の多い低層部を中心に、県産木材を活用した内装木質化と開放的なガラスカーテンウォールによって、市民に開かれた警察署としました。城下町松山の歴史や文化に寄り添い、庇などの水平要素により壁面分節と縦ルーバーによる奥行きある立面計画により、城下町らしい情緒あるファサードを形成しました。西側県道・南側市道に対して深く庇を出すことで歩道の延長としての庇下通路を設け、安心・快適な歩行者空間を整備しました。



- 建築場所 松山市勝山町二丁目13他
- 構造・階数 SRC造10階建
- 延床面積 8,695.20㎡
- 完成年月 令和5年2月
- 施工者 熊谷・一宮・黒川 共同企業体



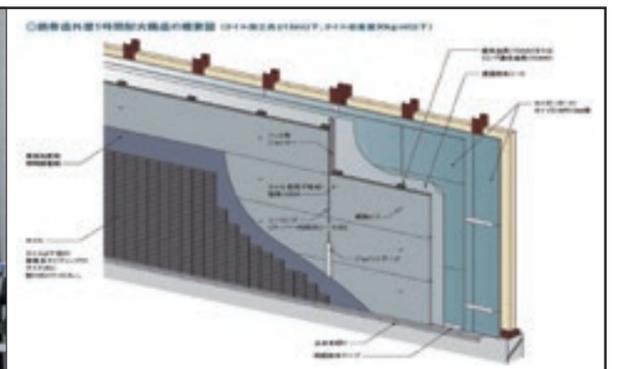
令和4年度の賛助会主催の商品・工法説明会は、夏に開催予定だったものが延期となり、忘年会同日の12月に1回だけですが開催できました。説明役の賛助会員の皆様、今回も貴重な情報提供ありがとうございました。



開催日時等	説明会員とテーマ
第31回 日時：令和4年12月2日(木) 16:35～18:00 場所：ANAクラウンプラザホテル松山	○ニッタイ工業(株) *NKタイル張り工法(鉄骨造建築物タイルシステム) ~鉄骨造建築物へ窯業系サイディングを使用したタイル張りの新工法~ ○遮熱ジャパン(合) *遮熱シートの紹介 *遮熱シートブラインドの紹介



タイルについてのお問合せは
ニッタイ工業株式会社
<https://www.nittai-kogyo.co.jp/>



下地サイディングについてのお問合せは
ケイミュー株式会社
<https://www.kmew.co.jp/>

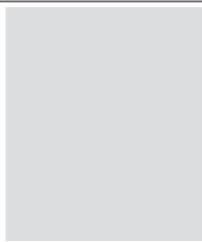


■遮熱シート ■遮熱ブラインド ひめブラインド(特許番号) 特許第7236419
遮熱ジャパン合同会社 代表者 岸 正幸
 〒7900-0002 松山市二番町4丁目4-9 TEL089-909-3600 FAX089-909-3666

会員企業紹介 《新会員紹介》

正会員

事務所名	スターク（株）二級建築士事務所	
開設者・管理建築士	開：森田 久美 管：岸野 和仁	
協会担当者	岸野 和仁	
所在地	〒799-3111 伊予市下吾川 1814 番地 25	
TEL / FAX	TEL：089-916-5612 FAX：089-916-4622	

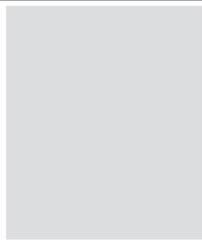
事務所名	(有) ベエルシバ構造一級建築士事務所	
開設者・管理建築士	開：谷口 智子 管：谷口 栄喜	
協会担当者	谷口 栄喜	
所在地	〒794-0084 今治市延喜甲 191 番地 1	
TEL / FAX	TEL：0898-22-6720 FAX：0898-52-7422	

事務所名	(株) 相中組	
開設者・管理建築士	開：相中 春一 管：角倉 誠	
協会担当者	相中 春一	
所在地	〒799-3111 伊予市下吾川 2045 番地 1	
TEL / FAX	TEL：089-983-1255 FAX：089-983-1081	

事務所名	(有) 森川建設一級建築士事務所	
開設者・管理建築士	開：森川 晴喜 管：森川 晴喜	
協会担当者	森川 晴喜	
所在地	〒798-0081 宇和島市中沢町 2 丁目 4 番 31 号	
TEL / FAX	TEL：0895-25-2828 FAX：0895-25-2525	

事務所名	南興建設（株）一級建築士事務所	
開設者・管理建築士	開：山下 修史 管：今城 昌宏	
協会担当者	山下 修史	
所在地	〒798-0078 宇和島市祝森甲 1782	
TEL / FAX	TEL：0895-27-0014 FAX：0895-27-0104	

事務所名	(株) コアスト構造設計	
開設者・管理建築士	開：宮原 寛幸 管：細川 隆史	
協会担当者	宮原 寛幸	
所在地	〒791-8016 愛媛県松山市久万ノ台 921-1	
TEL / FAX	TEL：089-989-8832 FAX：089-989-6623	

事務所名	(有) 柚山製材所ユヤマ構造設計 2 級建築士事務所	
開設者・管理建築士	開：柚山 英二 管：田坂 司	
協会担当者	柚山 英二	
所在地	〒792-0896 新居浜市阿島 1 丁目 1 番 61 号	
TEL / FAX	TEL：0897-46-5336 FAX：0897-46-5337	

事務所名	クスコラボ	
開設者・管理建築士	田中 陽子	
協会担当者	田中 陽子	
所在地	〒798-0096 宇和島市本九島 1450-1	
TEL / FAX	TEL：0895-65-9070	

事務所名	岸建築設計事務所	
開設者・管理建築士	岸 孝徳	
協会担当者	岸 孝徳	
所在地	〒791-8061 松山市三津 3 丁目 3-1	
TEL / FAX	TEL：089-951-2857 FAX：089-952-8737	

事務所名	kanae. 建築空間設計事務所	
開設者・管理建築士	大塚 佳苗	
協会担当者	大塚 佳苗	
所在地	〒791-0113 愛媛県松山市白水台 2-4-1	
TEL / Email	TEL：070-8473-9053 Email：info@kanae-arc.jp	

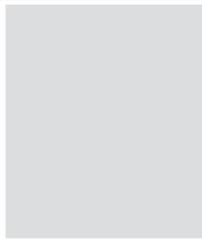
事務所名	(株) ひのまる工務店	
開設者・管理建築士	開：黒田 倫基 管：島本 真裕子	
協会担当者	島本 真裕子	
所在地	〒791-3110 伊予郡松前町大字浜 775-1 バルーンビル A1-3	
TEL / FAX	TEL：089-984-2808 FAX：089-984-2878	

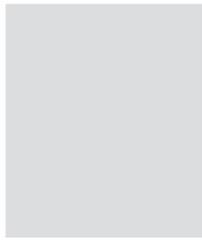
事務所名	竹本洋二建築設計事務所	
開設者・管理建築士	竹本 洋二	
協会担当者	竹本 洋二	
所在地	〒791-8036 松山市高岡町 698-50	
TEL / FAX	TEL：089-910-2206	

賛助会員

事務所名	(株) 矢野青山建築設計事務所 一級建築士事務所	
開設者・管理建築士	矢野 寿洋	
協会担当者	矢野 寿洋	
所在地	〒790-0806 松山市緑町1-2-1 和光会館1B	
TEL / FAX	TEL : 089-948-8190 FAX : 03-6745-2374	

事務所名	剛一級建築設計室	
開設者・管理建築士	井澤 剛一	
協会担当者	井澤 剛一	
所在地	〒790-2648 松山市菅沢町甲 975-5	
TEL / FAX	TEL : 089-914-0351 FAX : 089-914-0353	

事務所名	未来企画設計	
開設者・管理建築士	渡邊 正	
協会担当者	渡邊 正	
所在地	〒794-0055 今治市中日吉町3丁目6-33	
TEL / FAX	TEL : 0898-77-7167	

事務所名	(株) アークス一級建築士事務所	
開設者・管理建築士	開：白石 泰祥 管：中島 瑛明	
協会担当者	白石 泰祥	
所在地	〒791-1101 松山市久米窪田町1154-1 安部商事ビル1階	
TEL / FAX	TEL : 089-909-7727 FAX : 089-909-7728	

企業名	遮熱ジャパン合同会社	
代表者名	岸 正幸	
所在地	〒790-0002 松山市二番町4丁目4-9	
TEL FAX	TEL : 089-909-3600 FAX : 089-909-3666	
HP	https://syanelu-japan.com/	
E-MAIL	info@syanelu-japan.com	
営業品目・取扱商品名	遮熱シート、遮熱ブラインドの製造販売、ひめブラインド、ブロックス遮熱シート	担当：岸 正幸

企業名	ティエムソフト株式会社	
代表者名	玉澤 和善	
所在地	〒791-8071 松山市松ノ木2丁目4234-40	
TEL FAX	TEL : 089-951-6699	
HP	http://www.tm-soft.jp	
E-MAIL	tm_soft@nifty.com	
営業品目・取扱商品名	型枠展開図作成・型枠数量・コンクリート数量積算ソフト開発・販売	担当：玉澤 和善

企業名	東芝キャリア株式会社	
代表者名	営業所長 安田 武史	
所在地	〒790-0003 松山市三番町4-9-5 松山センタービル1号館3階	
TEL FAX	TEL : 089-900-1888 FAX : 089-900-2530	
HP	https://www.toshiba-carrier.co.jp	
E-MAIL	takefumi.yasuda@glb.toshiba.co.jp	
営業品目・取扱商品名	業務用・産業用空調、熱源システム(チリングユニット)、ヒートポンプ給湯機、家庭用エアコン、冷凍機、クーリングユニット、換気扇	担当：安田 武史

企業名	株式会社 建築構造センター 愛媛事務所	
代表者名	所長 村上 元	
所在地	〒790-0003 松山市三番町7-13-13 ミツネビルディング601号室	
TEL FAX	TEL : 089-913-6555 FAX : 089-931-0081	
HP	https://www.kozocenter.co.jp	
E-MAIL	kkc-info12@kozocenter.co.jp	
営業品目・取扱商品名	建築物の構造計算適合性判定 建築物エネルギー消費性能適合性判定	担当：村上 元

企業名	株式会社久門スチールワークマン社	
代表者名	久門 慎一郎	
所在地	〒792-0866 愛媛県新居浜市宇高町4丁目3-29	
TEL FAX	TEL : 0897-35-2005 FAX : 0897-35-2008	
HP	https://kumon-sw.jp/	
E-MAIL	sk@kumon-sw.jp	
営業品目・取扱商品名	屋根・板金工事	担当：久門 慎一郎

企業名	ハイスピードコーポレーション株式会社	
代表者名	代表取締役 中村 大介	
所在地	〒791-8016 愛媛県松山市久万ノ台921-1	
TEL FAX	TEL : 089-989-0093 FAX : 089-989-0063	
HP	https://www.hyspeed.co.jp/	
E-MAIL	info@hyspeed.co.jp	
営業品目・取扱商品名	地盤調査・地盤改良・宅建業・家屋解体業	担当：松山本社支店長 加藤 康典

企業名	株式会社 CHIASMA FACTORY	
代表者名	代表取締役社長 辻 真悟	
所在地	〒790-0807 松山市平和通3-2-27 THE B&C APARTMENT 3A	
TEL FAX	TEL : 0422-26-1104	
HP	http://www.chiasma-factory.co.jp/	
E-MAIL	info@chiasma-factory.co.jp	
営業品目・取扱商品名	一級建築士事務所	担当：辻 真悟

企業名	愛媛建設新聞社 工事情報	
代表者名	代表者 余吾 綾太郎	
所在地	〒790-0944 松山市古川西3丁目7-24	
TEL FAX	TEL : 089-956-1050 FAX : 089-956-1257	
HP	https://eks-kojijoho.com/	
E-MAIL	info@eks-kojijoho.com	
営業品目・取扱商品名	建設新聞の発行・工事情報	担当：余吾 綾太郎

編集後記

ここ数年のコロナ禍により我々を取り巻く環境は大きく変化してきました。今後より一層変革を迎えると予想される中、今まで以上に様々な情報を内外に向けて広く発信する必要があると考えます。

先日近畿ブロック協議会よりお招きいただき、全国から集った日事連青年部会連絡会議のメンバーや近畿ブロックの方々と沢山の語り合いをさせていただく中で、情報発信や広報活動の重要性を改めて認識させていただきました。

地域や社会に必要とされる団体として、また新しい時代に沿った広報活動ができるよう委員会メンバーとともに更なる前進を遂げたいと考えております。

末尾になりましたが、本機関紙JAAF えひめの編集・発刊にご協力いただきました皆さまに改めて心より感謝・お礼を申し上げます。

委員長 榎宮内古勝建築事務所／宮内 慎

企業名	行政書士法人 えひめサポート総合法務事務所	 担当：深見 豪
代表者名	代表社員 深見 豪	
所在地	〒790-0878 松山市勝山町二丁目3番地1	
TEL FAX	TEL：089-946-3745 FAX：089-986-8338	
HP	https://office-legal.org/	
E-MAIL	info@office-legal.org	
営業品目・ 取扱商品名	各種許可手続き及び入札参加資格申請等の相談・申請代理	

企業名	フジクリーン工業株式会社	 担当：坂本 友太
代表者名	所長 渡部 茂夫	
所在地	〒791-8067 松山市古三津2丁目20-34	
TEL FAX	TEL：089-967-6123 FAX：089-967-6124	
HP	https://www.fujiclean.co.jp/	
E-MAIL	yuta_sakamoto@fujiclean.co.jp	
営業品目・ 取扱商品名	浄化槽・産業廃水処理ユニット・ブロワの製造販売、 設計・施工・メンテナンス	

企業名	日成ビルド工業株式会社 松山支店	 担当：下村 拓也
代表者名	松山支店長 下村 拓也	
所在地	〒790-0001 松山市一番町一丁目 15番地2 松山一番町ビル6F	
TEL FAX	TEL：089-947-8911 FAX：089-947-8911	
HP	https://www.nisseibuild.co.jp/	
E-MAIL	t.mizobuchi@nisseibuild.co.jp	
営業品目・ 取扱商品名	プレハブ建築及びプレハブ構築物の設計、製造、販売、設置及び賃貸 立体駐車場、時間貸駐車場管理機器、立体自動艇庫及び自動倉庫の 設計、施工、請負、監理、製造、販売、輸出入、賃貸及びメンテナンス	

企業名	コムシス株式会社	 担当：近藤 譲治
代表者名	代表取締役 近藤 譲治	
所在地	〒790-0952 松山市朝生田町4丁目3-36	
TEL FAX	TEL：089-921-5555 FAX：089-921-1555	
HP	http://ehime-comsys.co.jp/	
E-MAIL	comsys@ca.pikara.ne.jp	
営業品目・ 取扱商品名	電気通信工事業 光ファイバー・ケーブルテレビ・LAN・ナースコール・放送設備・ 防犯カメラ・ビジネスホン等	



発行 一般社団法人 愛媛県建築士事務所協会

〒790-0002 愛媛県松山市二番町4丁目1-5

Tel.089-945-5200 Fax.089-945-5318

E-mail info@ehimekai.com

<http://www.ehimekai.com>